

広島県「みんなで減災」県民総ぐるみ運動展開中！



「タスケ三兄弟」

資料提供

平成30年10月30日
所属：危機管理課
担当：道下
内線：2786
直通：082-513-2786

平成30年度総合防災訓練・石油コンビナート等総合防災訓練の実施について

1 実施日時

平成30年11月4日（日） 14時00分～16時10分

2 訓練場所

大竹市 晴海臨海公園（大竹市晴海2丁目11番）

3 主催等

広島県防災会議，大竹市防災会議，広島県石油コンビナート等防災本部

4 訓練想定

大竹市内を震源とするマグニチュード7.0クラスの巨大地震が発生するとともに，数日前から降り続く雨の影響で，土砂災害が起き，市内各地で大きな被害が発生している。

また，大竹市内の石油コンビナート事業所内においては，危険物の漏えいの発生に加え，余震により，屋外タンク貯蔵所の防油堤に亀裂が入り，施設外及び海上へ流出するとともに，更なる余震により，防油堤内で火災が発生している。

5 参加機関

66 機関（延べ800名）

（中国地方整備局，自衛隊，海上保安本部，広島県警察本部，大竹市，医療機関，通信事業者，ライフライン事業者，自主防災組織，石油コンビナート特別防災区域特定事業所 他）

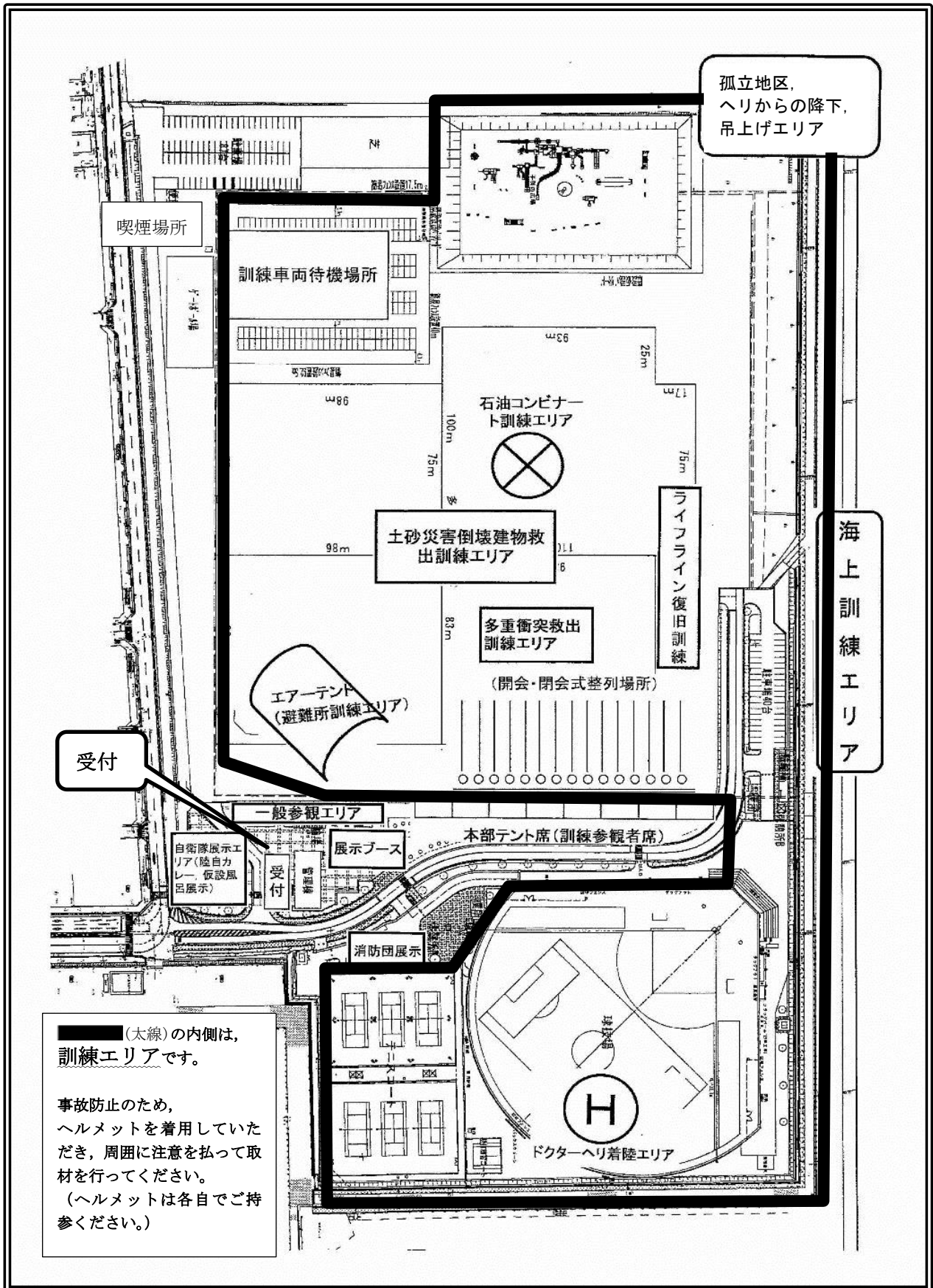
6 訓練の特色

- (1) 平成30年7月豪雨で，孤立地域が多数発生したことを受けて，孤立地域と外部との通信手段の確保と孤立者の救助活動訓練を実施
- (2) 地域の防災力を高めるため，自主防災組織による避難訓練，初期消火訓練を実施するほか，避難所運営訓練の中で自主防災アドバイザーによる避難所運営に関する講義を実施
- (3) 石油コンビナート等特別防災区域における災害を想定し，陸上と海上において対応訓練を実施

7 取材上の注意事項

- (1) 取材にあたっては，報道用の腕章を着用してください。
- (2) 受付でしおりを配布しますので，来場の際は受付にお越しくください。
- (3) 訓練エリア（一般参観者立入禁止区域）では，事故防止のため，ヘルメットを着用していただき，周囲に注意を払って取材を行ってください。（ヘルメットは各自でご持参ください。）
- (4) 安全のため，係員が取材位置の移動をお願いすることがありますので，あらかじめご了承ください。

8 訓練会場図



訓練出席者及び参観者（一部抜粋）について

区分	機関	役職	氏名
主催者	広島県	知事	湯崎 英彦
	大竹市	市長	入山 欣郎
広島県防災会議	中国総合通信局	局長	長塩 義樹
	中国四国農政局	地方参事官	那須 慎吾
	中国四国産業保安監督部	管理課長補佐	徳永 広司
	中国地方整備局	緊急災害対策調整官	藤原 優
	中国運輸局	安全防災・危機管理調整官	金氏 陽
	大阪航空局広島空港事務所	広島空港事務所長	貴島 規夫
	広島地方气象台	台長	日当 智明
	第六管区海上保安本部	警備救難部次長	林 一馬
	陸上自衛隊	第 13 旅団長	山根 寿一
	広島県警察本部	広島県警察本部長	石田 勝彦
	日本赤十字社広島県支部	事務局長	泉水 直
	西日本高速道路株式会社 中国支社	中国支社長	小橋 慶三
	西日本電信電話株式会社 広島支店	設備部長	塩野 達也
中国電力株式会社	送配電カンパニー 一部長（配電）	永島 正敏	
その他の 訓練参加機関	国土地理院中国地方測量部	部長	中島 最郎
	海上自衛隊	呉地方総監部幕僚長	小峯 雅登
	航空自衛隊	西部航空方面隊 司令部幕僚長	小袋 長武
	広島西医療センター	副院長	岩崎 洋一
	株式会社ダイセル大竹工場	常務執行役員大 竹工場長	上野 貴史
	三井化学株式会社岩国大 竹工場	安全・環境部長	加藤 一彦
	日本製紙株式会社岩国工場	工場長代理	向井 継男

(順不同)